

《学校だより》

《第5号》

回覧回覧

三の丸

平成25年10月15日

小田原市立三の丸小学校

学校教育目標

自然や地域・社会と共に 学び合い高め合う 心豊かで健やかな子

先日、三の丸小学校の校内研究会で6年生の国語の授業を見ました。

「自分たちは平和のために何ができるだろう」という課題をクラス全員で、一生懸命に話し合い、考えている姿が見られました。身乗り出して手を挙げ、話したい気持ちを表現する子や友だちの発言に、「あ〜」と感嘆の声を上げながら学習する子の姿に感動しました。

三の丸小学校では、子ども自身が切実な問題と出会い、響き合い・高め合う姿が生まれることを目指し、日々の授業に取り組んでいます。

《5・6年の子どもたちが学校をつくっています》

◇ 9/11 さわやか集会では、マナーランチ委員会からの表彰とエコスクール委員会から感謝状の紹介がありました。エコキャップ約32,250個集めて送ることができました。これで約40人のポリオワクチンが購入できるそうです。また、プルタブリングは、約700kg集めると車椅子1台を施設に寄贈できるそうです。これからも、ご協力をお願いいたします。

◇ 9/30からの1週間は、スポーツ委員会主催の『仲良し班対抗ドッジボール大会』が行われました。和気あいあいの雰囲気の中に、本気でボールを追う姿がありました。また、普段行われているクラスのドッジボールでは見られない上級生から下級生への優しさにあふれた大会となりました。

◇ 10/9には、『1年生とふれ合う会』がスマイルハッピースクール委員会主催で行われました。

委員会の5・6年生が企画・運営しました。たくさんの児童が1年生とふれ合う機会となりました。本当に嬉しそうな顔・顔・顔。中でも、1年生のはじけるような笑顔が印象的でした。

◇ 10/23には、スマイルメロディー委員会主催の『音楽じまん大会』が予定されています。休み時間になると、職員室に来た子どもの、「音楽じまん大会の練習をするので、音楽室の鍵を貸してください。」という元気な声が聞こえてきます。今から楽しみです。

《小田原ロータリークラブよりの図書寄贈（5年目）》

小田原ロータリークラブ様より、5万円分の図書の寄贈をしていただきました。小田原ロータリークラブ様の関わりが深い地域8校の小学校に贈られています。資金は、例会のたびに会員様がカンパされたお金ということでした。学校が、たくさんの方々に支えられていることを再確認いたしました。当日発表された、児童のお礼の作文を紹介します。

☆ 私は、本を読むのが好きなので、今回、本を寄贈していただけることは、とても嬉しく思いました。

私が本を好きになったきっかけは、4年生の時に図書室で借りた『若おかみは小学生』と『黒魔女さんが通る!!』という本でした。それをきっかけに私は本の魅力に引き込まれていき、気付いた時にはもう本に夢中でした。そうしてみんな

に本の面白さ・魅力を知ってもらいたいと思い、図書委員会に入りました。みんなにもそんなきっかけを作ってあげられたらいいと思います。

みなさんにいただいた本がきっかけとなり、本を好きになる人が増えるといいなと思います。この本は、全校のみんなに紹介して、たくさんの人に読んでもらいたいと思います。本当にありがとうございました。



《校長室より

～ 子どもたちの合言葉 ～

夢を持とうよ 自分を信じて

続けてみようよ 小さなことから

やり遂げようよ 仲間と共に



☆ 学校教育目標を目指すために、全校の子どもたちが、共通の合言葉を持ってほしいと考えていました。そこで、15日の後期始業式で、この合言葉を子どもたちに伝えました。話の中には、大リーグで活躍しているイチロー選手の言葉と小田原の偉人である二宮尊徳の教えから「小さなことの積み重ね」の大切さを紹介しました。

この言葉を初めて伝えた子どもたちは、今から15年前の三の丸小学校の教え子でした。その時の言葉は、「夢を持とうよ 続けてみようよ やり遂げようよ」でした。その後の4つの小学校での経験から、いくつかの言葉を付け加えてきました。

自分に自信が持てないでいる子や、コミュニケーション能力が未発達で、友だちとの関係をうまくとれないでいる子を支えていきたいという思いを込めました。

これから、子どもたちには、いろいろな機会に具体的に伝えていきます。